
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年6月23日号

©2009年5月における中国の大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年5月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国産大豆価格は上昇

2009年5月の黒龍江省における国産大豆油工場の買上価格は、1トン当たり3,398円で前月比4.3%高・前年同月比31%安となった。消費地である山東省の国産大豆の工場買上価格は同3,510円で前月比0.6%高・前年同月比30.7%安となった。同地区における四級大豆油の工場出荷価格は同7,496円で前月比10.6%高・前年同月比31.7%安となった。また、同じく中等大豆粕の工場出荷価格は3,205円で、前月比8.8%安・前年同月比16.4%安となった。

2 国際大豆・大豆製品価格は大きく上昇

5月の国際大豆・大豆製品価格は過去8カ月間で最も高い水準へ上昇し、また大豆粕価格も過去9カ月間で最も高くなった。2009年5月の米国シカゴ先物取引所（CBOТ）における大豆平均価格は1トン当たり397.3ドルで、前月比9.8%高・前年同月比18%安となった。大豆油は853.9ドル、前月比7.2%高・前年同月比36.7%安となり、大豆粕は366.9ドル、前月比12.4%高・前年同月比1.5%高となった。

3 内外価格差は引き続き縮小

2009年5月の大豆国際離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は、依然として国内価格

より安く、内外価格差は引き続き縮小した。山東地区の輸入大豆の通関渡し価格（DutyPaid：CIF+関税等）は1トン当たり3,524円で、当地の国産大豆価格に比べ14元高い水準であった。メキシコ湾における大豆FOB価格は1トン当たり453ドルで、これを3,094円と換算すると、山東地区の国産大豆仕入価格に比べ1トン当たり416元低い水準であり、内外価格差は先月と比べ1トン当たり313元縮小した。

4 大豆輸入は引き続き増加

海関統計によると、2009年4月の中国の大豆輸入量は、前年同月比55.2%増の371万トンとなり、同輸出量は、同56.6%増の5.2万トンとなった。2009年1～4月の中国の大豆累計輸入量は、前年同期と比べて368万トン・36.2%増の1,385.9万トンとなり、また同累計輸出量は、前年同期比22.4%減の17.3万トンとなった。

5 世界の大豆供給量は逼迫

業界誌「油世界」によると、2008/09年度の世界の大豆生産高は当初見通しの2.235億トンから2.124億トンへ下方修正され、昨年の生産実績高の2.209億トンより低くなり、また期末在庫は前年度の6,030トンから減少し5,010トンとなり、世界の大豆供給は逼迫すると予測されている。